

平成28年度 事業報告

我が国の景気は、一部に改善の遅れもみられますが、緩やかな回復基調が続いています。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかに回復していくことが期待されています。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような状況下、当協会は公益社団法人として5年目を、平成26年度からの川崎市港湾振興会館の指定管理者として3年目を迎え、川崎港の利用促進や市民と港を結ぶ事業を中心に、市民及び港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進いたしました。

【公益目的事業－1】

——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題60項目を整理し、改善部会、協議会において、進捗状況などを確認した。また、課題への取り組み開始後5年が経過したことから、課題内容の見直しに着手した。成果のあった課題については、成果物としてひとまとめにした。数年間全く動きのない課題、時代の趨勢とともに方向性が変わってしまった課題、協議会で検討する事項とは思えないような課題等については、起案者の了解を得て課題から削除した。それ以外については、必要に応じて課題内容の精査を行い、継続課題として取り組むことで確認をいただいた。

今年度は上記事柄を具体的に検討、確認する場として改善部会を2回、協議会を1回開催した。

(1) 第1回「改善部会」の開催

日 程 9月9日

議 題

1. 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として6件が報告された。

① バースの整備 千鳥町2号バースの整備完了

② 荷捌き地の整備 千鳥町モータープールの完成、供用開始

③ 交通の利便性向上 多摩川トンネル事業に着手、YCAT東扇島線の平日、夜間、休日需要の調査実施

- ④ 不法投棄防止のために監視カメラの設置
- ⑤ 公衆トイレの整備 千鳥町Fゲート横の公衆トイレの整備が完了
- ⑥ バースの申請 荷役計画書の事前提出によりスクラップ船のバース予約の仕組みが確立された。

イ 改善に向けて動きのあった課題3件が報告された。

- 2. 課題の見直しについて 趣旨説明を行った。

(2) 第2回「改善部会」の開催

日 程 3月21日

議 題

- 1. 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として6件が報告された。

- ① バースの整備 千鳥町7号バースの改修工事を開始
- ② 荷捌き地の整備 千鳥町共同事務所A棟、作業員詰所A棟の解体作業中
- ③ 路上違法駐車車両等の取り締まり等強化
- ④ 交通の利便性向上 YCAT便の増便
- ⑤ シャーシ置場の増設 6レーン18区画が増設された。
- ⑥ 東扇島島内の美化 植栽の改良に着手、島内企業にも協力要請

イ 改善に向けて動きのあった課題2件が報告された。

- 2. 新規課題 1件が確認された。(従前の課題番号に追記)

- 3. 課題の見直しについて 成果物、削除、継続課題のカテゴリー分けの実施内容について説明

(3) 「推進協議会」の開催

日 程 3月30日

議 題

- 1. 改善部会の議事内容

- 2. 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果のあった課題として10件、改善に向け動きのあった課題として5件が報告された。

- 3. 60項目の課題の見直しを実施(次年度への継続事業)

- 4. 新規課題 1件(従前の課題番号に追記)

2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

- (1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」(平成23年9月設立)は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、川崎臨港倉庫埠頭(株)、かわさきファズ(株)、関東船主会及び川崎港振興協会の7団体で構成され、コンテナターミナル利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤文夫会長が務め、推進協議会の実行部隊である2部会(ポートセールス部会・施

設計画部会)のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

なお、今年度のコンテナターミナルでの取扱数量は、初めて10万TEUの大台超えを達成した。

ア ポートセールス部会の開催

(ア) 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 平成28年6月30日

議 題 ①平成27年度収支決算書及び監査報告について
②平成28年度ポートセールス活動について

(イ) 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 平成28年11月21日

議 題 ①タイ航路開設に向けてのPS活動について
②日中航路拡販に向けての取り組みについて
③今後の海運業界について
④コンテナ取り扱い実績について

(ウ) 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 平成29年2月2日

議 題 ①下半期の事業活動について
②川崎港を取り巻くマーケット状況について
③川崎港コンテナターミナル施設整備計画について
④平成29年度事業計画及び収支予算案について

イ タイ航路開設に向けてのセールス活動

(ア) 国内での意見交換会の開催

日航ホテルで顧客30名、プレス5社を招き、航路開設に向けての協力を要請

(イ) タイでのシッパーセールスの実施

顧客8社、船会社1社を訪問し、川崎港のPRを行った。

ウ 国内ポートセールスに関する活動

(ア) SITCとの連携強化

SITC青島セールスチームが来日、SITCジャパンを交えて意見交換会を開催した。

薛総裁来川に伴い意見交換会を開催するなど関係強化を図った。

(イ) 横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP)との連携

YKIPからの情報に基づき輸出入事業者へのアプローチを行った。

(ウ) 企業訪問等

リーファー貨物の取り扱い拡大に向けて新規荷主の獲得を目指した。

タイ航路誘致に向けてのサポート荷主との連携強化を図った。

ISOタンク、危険品取扱企業などへの対応強化

(エ) 各種業界会合等への参加

川崎危険物懇話会への参加(5月27日、9月27日、12月8日)
同懇話会会員へのコンテターミナルの紹介、ターミナル視察の実施
(オ) 国内連携港との意見交換等

秋田、東北地方整備局、八戸、仙台塩釜、四日市、新潟港との連携強化

エ 海外ポートセールスに関する活動

官民一体となったセールス活動の実施

(ア) 「上海国際技術輸出入交易会」への出展及びポートセールス

日 程：4月20日～24日

目 的：輸出入事業者への川崎港紹介、企業訪問

(イ) 「中国国際消費電子博覧会」(青島市)への出展及びポートセールス

日 程：7月5日～9日

目 的：山東省近郊の輸出入事業者、物流事業者への川崎港のPR

(2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、川崎港の更なる発展に向けて情報収集を行った。また、川崎港へのクルーズ客船誘致に向けた方策についての調査を専門業者に委託した。

3. 京浜3港広域連携に関する事業

京浜3港としての共通制度である地域再生支援利子補給金制度の広報を進めるとともに、次期制度に向けた課題の抽出等について調査協力を実施した。

また、これまでの三港間の連携取組に加え、モーダルシフトや創貨といった新しい分野を含めたより広い事案を対象に、京浜3港としてのPR等の可能性について各港関係者と検討を行った。

4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。

平成28年度は外航船15隻が初入港した。(前年度 13隻)

4月	1隻	8月	1隻	12月	4隻
5月	2隻	9月	1隻	1月	2隻
6月	2隻	10月	0隻	2月	1隻
7月	1隻	11月	0隻	3月	0隻

5. 国際交流事業

連雲港港、ダナン港との交流

川崎市と友好港である中国・連雲港港及びベトナム・ダナン港との間で定期交流を行い、友好関係の強化を図ってきた。平成28年度は、5月に連雲港港総裁以下10名が来川され、川崎港の視察を行った。また、10月26日に同港を訪

問し、貨物誘致に向けての相互協力を約した。平成29年1月に川崎市港湾局長以下がダナン港港長を訪問し、ダナン―川崎間の定期航路開設に向けて意見交換を行うなど友好を深めた。

6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に、行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポータルセールスに使用するほか会員、川崎港利用者等に頒布した。

川崎港便覧2016年度版

発行日 8月3日

発行部数 日本語版 3,900部 英語版 350部

7. その他の振興事業

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

[主な提供先]

- ・7月21日発行 日本海事新聞「海の日記念特集号」
- ・7月29日発行 タウンニュース川崎区版「暑中見舞い広告」
- ・1月1日発行 タウンニュース川崎区版「元旦号」
- ・1月5日発行 日本海事新聞「新年特集号」

【公益目的事業－2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

1. 市民と港を結ぶ事業

市民が川崎港と海に親しむとともに、川崎港の役割及び海事思想について理解を深めるため、川崎マリエンを中心に次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たり、効果の測定・評価及び今後の事業の参考とするためのアンケート調査を行った。

(1) 第43回川崎みなと祭りの開催

川崎港について市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、第43回川崎みなと祭りを開催した。

・開催日 10月8日・9日

・来場者 162,000人（前年度来場者 226,000人）

(2) 映画上映会の開催

保育園、幼稚園、小学校の夏休み、冬休み、春休みの期間を利用し、マリエンタワーで小学生以下の子どもとその保護者を対象に、DVD等映像ソフト利用による映画上映会を3回開催した。(前年度 3回 81人)

- ・上映日 7月22日 上映作品「ベイマックス」
来場者41人
- ・上映日 12月26日 上映作品
「ペンギンズ from マダガスカル ザ・ムービー」
来場者34人
- ・上映日 3月27日 上映作品「ペット」
来場者14人

(3) 初日の出観賞会の開催

東京湾に面した眺望の良さを生かして年中行事として市民に定着した初日の出観賞会を川崎マリエン展望室において開催した。また、大みそかの夜から元旦の夜明けまで川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施した。

- ・実施日 1月1日
- ・来場者 先着300人

(4) 夏休み工作教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に、「ボトルシップ工作」「ボトルアート(ステンド画風)工作」の2教室を開催した。
(前年度 121人)

- ・実施日 8月20日・21日
- ・参加者 20日 42人(ボトルシップ34人、ステンド画8人)
21日 43人(ボトルシップ28人、ステンド画15人)

(5) 夏休み海洋環境教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、海洋環境保護の大切さを学んだ。(前年度 55人)

- ・実施日 7月25日
- ・参加者 57人

(6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子ども向けボトルシップ工作教室のボランティア指導者の養成を図るため、公募により、ボトルシップ工作に興味があり、将来子ども等への指導者を目指す9人を対象に、1年間の全12回コースで毎月第3土曜日に養成コースを開催した。また、コース終了後、川崎マリエンで作品展を開催した。

(7) クリスマスイルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスの季節に川崎マリエン植栽へのイルミネーション装飾及び川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施し、季節の感じられる川崎マリエンを演出し、川崎マリエンの魅力の向上を図った。

- ・イルミネーション 12月12日～26日

- ・ライトアップ 12月31日～1月1日

(8) 第6回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

展示会は、川崎マリエンと川崎アゼリアで実施した。

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 12月1日～1月31日
- ・応募点数 写真74点、絵画230点
- ・選考会 2月24日
- ・表彰式 3月19日

(9) 展示用フリースペースの利用促進

川崎マリエン交流棟1階ロビーを展示会用フリースペースとして市民等の利用に供し、希望者に無料で貸し出した。

○常設展示

- ・ミニチュアカー
- ・クラシックカー（ジャガー ロールスロイス ～9月28日）
- ・絵画「月下美人」～6月30日 「陽だまり」7月1日～

○期間展示

- ・海上保安署パネル展
12月8日～12月15日
- ・川崎ビーチスポーツクラブパネル展
3月1日～3月13日
- ・第6回川崎マリエン写真・児童絵画コンクール入賞作品展
3月14日～3月19日
- ・ボトルシップ工作教室指導者養成コース成果発表作品展示会
3月19日～3月25日

(10) 展示の充実

○川崎マリエン交流棟2階マリエンプラザ

友好港ダナン港コーナーのリニューアルを行うとともに、ベトナム航空機内誌の試読誌を追加した。また、海上保安署のパネルを掲示するなどし、交流棟2階への回遊性を高めた。

○川崎マリエンタワー棟10階展望室

- ・液晶タッチパネル方式の案内板のメニューの1つ「川崎港トピックス」の更新を行った。
- ・川崎港統計データを更新したパネルを制作し、展示した。

○交流棟1階ロビー及びタワー棟10階展望室

東扇島中公園等に飛来する野鳥のパネルを新たに制作・展示し、来館者が川崎港をより広く理解しながら、周囲の眺望を楽しめるよう展示の充実を図った。

(11) 夏休み川崎港見学会の開催

夏休みを利用して、小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学や自動車船の船内見学を行い、川崎港の役割、重要性等の理解を深めた。見学会は3回実施し、延べ98人の参加を得た。

(前年度2回62人)

7月21日	18組	36人
7月28日	14組	28人
8月4日	17組	34人

(12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

一般市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、川崎港の役割、重要性等を理解しながら川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で2回実施し、延べ89人の参加を得た。(前年度2回69人)

- ・3月8日 宮前区役所と共催 参加者42人
- ・3月14日 幸区役所と共催 参加者47人

(13) 港内案内事業の実施

川崎市が一般市民、研究者、事業者、内外視察団等を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」を利用して海上から川崎港を案内する事業において、乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行う業務を当協会が受託し、28回、合計804人を案内した。(前年度31回915人)

4月	—	—	8月	6回	229人	12月	3回	99人
5月	3回	73人	9月	3回	113人	1月	2回	45人
6月	1回	25人	10月	2回	62人	2月	1回	25人
7月	4回	91人	11月	3回	42人	3月	—	—

また、川崎市から東扇島浮棧橋完成セレモニー実施等業務を当協会が受託し、8月4日に式典と併せ、東扇島浮棧橋を活用した観光船による港内視察を実施した。

(14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育室（夜間バドミントン教室/春の部・秋の部）、テニスコート（夜間テニス教室/春の部・秋の部、昼テニススクール・大会）、ビーチコート（日帰り研修/ビーチバレーボール・ビーチテニス、ビーチバレーボール大会・ビーチテニス大会）、トレーニング室（トレーニング教室）を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

(15) ニュースポーツ普及事業の実施

神奈川県レクリエーション協会及びレクリエーション関係各社と連携して、川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催するとともに、用具を川崎マリエンに備え付け、東扇島中公園等の施設利用者に貸

与した。

(16) 川崎市港湾振興会館活性化事業（宿泊体験他）の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、ボーイスカウト川崎第56団を対象とする宿泊体験研修を実施したほか、ビーチバレーボールとビーチテニスの日帰り体験会及び大会を実施した。

ア 第1回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 5月8日
- ・参加者 18人

イ 第2回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 6月26日
- ・参加者 30人

ウ 第3回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 10月1日
- ・参加者 8人

エ 第4回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 10月30日
- ・参加者 25人

オ 第5回ビーチバレーボール体験会

- ・実施日 12月4日
- ・参加者 9人

カ 第1回ビーチテニス体験会

- ・実施日 10月15日
- ・参加者 10人

キ 第1回ビーチバレーボール大会

- ・実施日 11月13日
- ・参加者 46人

ク 第1回ビーチテニス大会

- ・実施日 11月6日
- ・参加者 12人

ケ 宿泊体験研修

- ・実施日 7月9日・10日
- ・参加者 子ども29人、大人49人

(17) 川崎マリエン茶道教室の開催

川崎マリエンの和室を利用して、伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を開催した。

- ・無料体験会 5月25日（参加者12人）
- ・6月8日より毎月第2・第4水曜日開催（全20回・参加者11人）

(18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携するほか、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外に情報発信するとともに、東海道かわさき宿交流館での「夜景遺産ポストカード」の展示・販売を実施し、改めて観光客等の誘致を図った。

(19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材を作成し、配布を行った。

(20) ワカメ祭りの開催

小学生とその保護者を対象に、川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの見学会と併せて川崎マリエン施設の見学会及び収穫したワカメの観察・試食体験を行う収穫祭を開催した。(前年度参加者78人)

- ・ 2月12日 養殖ワカメの見学会・マリエン施設見学会 参加者50人
- ・ 3月5日 収穫祭 参加者52人

(21) 野鳥の保護・観察

川崎マリエンに隣接する中公園等に野鳥が飛来し、又は営巣する環境を整備するために、東扇島中公園及びその周辺において、鳥類調査を実施し、19種の鳥類の飛来を確認するとともに、野鳥保護の観点から市民参加型事業を検討し、取り組みを進めた。

(22) スポーツ合宿の開催

2020年に向け、U23世代に対してオリンピックによるビーチバレーボールの指導とトップアスリートによる必要な要素を研修できる環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業を行った。また、川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与した。

実施日：3月10日～12日

実施内容：ビーチコートでは実技、研修室・会議室は座学に利用

参加人数：男子4名 女子5名

(23) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチコート、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

- ・ジュニア育成事業テニス教室
- ・神奈川県テニス選手権大会
- ・川崎市実業団対抗テニストーナメント大会（一部リーグ）
- ・神奈川ベテランミックステニス2016（オープン）
- ・第28回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権
- ・ジャパンデフビーチバレーボールカップ2016

- ・バイクナビ・グランプリ 2016 川崎マリンエンデューロ
- ・第9回川崎港トライアスロン in 東扇島兼
第3回川崎ジュニアトライアスロン大会
- ・JBV 2016 ビーチバレーボール川崎市長杯
- ・U-23 ビーチバレーボールトーナメント
- ・DEAD POP FESTIVAL 2016
- ・BAY CAMP 2016
- ・第11回勇竿釣具店カレイ投げ釣り大会

2. 川崎市港湾振興会館の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、設置目的に従って体育室、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチコート、トレーニング室、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大を図った。

ア 体育室

設備面では川崎市の補修工事として照明の交換、出入り口の防水工事、また、協会として倉庫扉の改修を行い、利用者の安全性を向上した。

利用面では規定の種目以外の催しであっても利用可能な行事であれば対応し、多目的な利用に繋げた。(新体操、フォークダンス、ジャズダンス、コンサートリハーサル等)

イ 会議室・研修室

照明をLED化し、快適な会議環境を提供した。

通常の会議利用他、撮影場所として提供し川崎マリエンのPR、知名度アップに貢献した。

ウ 展望室

日本夜景遺産登録のPRを引き続き行って利用者増を図るとともに、国交省から依頼のあった水江町線、防災拠点の案内を展示して川崎港の取組をアピールした。

エ テニスコート

川崎市の改修工事として5番コートの張り替え、協会として利用者からの要望に適宜対応したコート内の砂の追加、備品管理を行って利便性の向上を図った。

川崎市テニス協会と協力しジュニア育成などの大会を開催し、テニスの振興を図った。

オ ビーチコート

日本バレーボール協会、日本ビーチバレー連盟と協力し、大小多くの大会を開催してビーチスポーツの振興を行った。リオオリンピックの予選の代表決定戦等も行われ、残念ながら男女とも出場できなかったが、2020年の東京オリンピックに向けて一般利用者に加えアスリートが練習場として利用していただき、活躍できるよう引き続き協力を行った。

カ トレーニング室

月4回の初回説明会の実施、各器具の定期点検を行い、安全性を確保し利用者の増加を図った。

ビーチコートと同じくアスリートにトレーニング場として環境の提供を行い、ビーチスポーツの振興に繋げた。

キ 会議、委員会の設置

・入居者連絡会

川崎マリエン入居者への情報提供や意見交換を行った。

(5月25日・9月28日・12月21日)

・サービス向上委員会

受託事業者(保守管理業務、受付業務、清掃業務)間でサービスの向上を図るため毎月1回行った。

・川崎マリエン管理運営個別業務自己評価点検委員会

受託事業者(保守管理業務、受付業務、清掃業務)の個別業務ごとに施設管理者が評価点検を毎月1回行った。

・川崎マリエン利用者懇談会

川崎マリエンの利用者及び川崎市民の意見を反映させ、当施設の設置目的の実現や活性化を図るために開催した。(7月19日・1月18日)

平成28年度 川崎マリエン利用者数(前年度との比較)

平成28年度		平成27年度	
345,544人		401,878人	
・体育室	15,197人	・体育室	16,549人
・会議室・研修室	17,115人	・会議室・研修室	18,902人
・展望室	76,863人	・展望室	82,824人
・テニスコート	30,494人	・テニスコート	28,312人
・ビーチコート	37,047人	・ビーチコート	24,803人
・川崎みなと祭り	162,000人	・川崎みなと祭り	226,000人
・その他(トレーニング室他)	6,828人	・その他(トレーニング室他)	4,488人

3. ホームページによる情報提供事業

川崎港の振興宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック等で随時情報を提供した。

・ホームページアドレス

公益社団法人 川崎港振興協会 <http://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <http://www.kawasakiport.or.jp/>

・平成28年度 ページ別訪問数 82,870件

【収益事業－１】

——川崎市施設の管理運営に関する事業——

1. 川崎市港湾振興会館収益施設の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分を川崎市港湾振興会館の設置目的に従って適切に管理・運営を行った。

2. 東扇島中公園バーベキュー場管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設等の管理運営を川崎市から受託し、施設維持管理、案内、用具点検等利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

平成28年度利用区画数 延761区画（平成27年度 延818区画）
貸自転車 延901台（ “ 延1,034台）

3. 自動販売機の設置

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園に飲料水等の自動販売機を設置し、利用者の利便性の向上を図った。

・交流棟 1台 ・業務棟 2台 ・連絡通路 3台 ・展望室 1台
・テニスコート 2台 ・中公園 1台 ・西公園 5台

【収益事業－２】

——川崎港関連物品等の頒布事業——

1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているサメの剥製「かわジロー」に因んだサメグッズの仕入、製作を行い、販売した。また川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」グッズの新規作成・販売、日本夜景遺産認定を記念して製作した夜景遺産ポストカードの販売を川崎マリエン受付及び東海道かわさき宿交流館で行った。

2. 体育室等利用者のための消耗品の販売

体育室利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けに洗面用品を販売し、利便性の向上を図った。

【共益事業】

——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

1. 会勢

(1) 会員 264社 (入会2社、退会4社)

(2) 役員 19人

会長 1人

専務理事 1人

理事 14人

監事 2人

顧問 1人

(3) 職員 15人

事務局長 (業務課長兼務) 1人

業務課 5人

ポートセールス推進課 1人

会館事業課 8人

2. 総会・理事会

(1) 通常理事会

・開催日 5月24日

・場所 川崎マリエン第1会議室

- ・議題 ①平成27年度事業報告について
②平成27年度決算報告及び監査報告について
③役員改選(案)について
④会員の入会(案)について
⑤平成28年度定時総会の開催(案)について
⑥職務執行状況の報告について

(2) 定時総会

・開催日 6月16日

・場所 川崎日航ホテル11階橘楓の間

- ・議題 ①平成27年度事業報告について
②平成27年度決算報告及び監査報告について
③役員改選(案)について
④平成28年度事業計画及び予算について

(3) 臨時理事会

・開催日 6月16日

・場所 川崎日航ホテル8階コーラルの間

- ・議題 ①役員選定(案)について
②顧問選任(案)について

(4) 通常理事会

- ・開催日 11月16日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成28年度上半期事業報告について
②平成28年度中間決算報告について
③職務執行状況の報告について

(5) 通常理事会

- ・開催日 2月15日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成29年度事業計画（案）について
②平成29年度予算（案）について
③資金調達及び設備投資の見込み（案）について

3. 川崎港研修会

港湾関係行政機関から講師を招き、会員店社の新入社員を対象に、川崎港における港湾行政について講演するとともに、海上から川崎港を視察し、川崎港についての理解を深めた。

- ・開催日 6月28日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 46人
- ・演題1 「税関の業務について」
講師 横浜税関川崎税関支署 統括監視官 今 満 様
- ・演題2 「川崎港の概要」
講師 川崎市港湾局港湾経営部経営企画課長
鈴木 健一郎 様

4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社等が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、川崎市港湾局から講師を招き、港湾振興事業、公共事業、将来計画、川崎港の港勢等について説明を行った。

- ・開催日 6月27日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 75人
- ・演 題 「平成28年度事業概要」
- ・講 師 川崎市港湾局港湾経営部整備計画課長 中上 一夫 様

5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応するため、今年度は、国際港湾物流に関して知識・経験が豊富な見識者である、横浜川崎国際港湾株式会社 代表取締役社長 諸岡 正道 様にご講演を頂いた。

- ・開催日 2月14日
- ・会場 東海道かわさき宿交流館
- ・参加者 100人
- ・演題 「海運業界が抱える課題と日本の港湾」
- ・講師 横浜川崎国際港湾株式会社
代表取締役社長 諸岡 正道 様

6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市民が川崎港の役割、重要性、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき58号」

- ・発行日 8月17日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 物流研修会「これからの港と物流」
流通経済大学 流通情報学部教授 苦瀬 博仁 様

連載第8回「私の川崎港」

前 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 代表取締役会長 永野 幸三 様

「コンテナターミナルの動向について」

川崎市港湾局 港湾経営部 整備計画課 担当係長 山本 一滋 様

(2) 「港かわさき59号」

- ・発行日 1月13日
- ・発行部数 1,000部
- ・主な内容 友好港「中国連雲港」訪問について
川崎市港湾局 港湾振興部 誘致振興課 担当係長 海津 憲吾 様

連載第9回「私の川崎港」

株式会社ヨコロジ オーナー 兼 執行役員 二見 武 様

「2020 川崎から世界へ！！」

川崎ビーチスポーツクラブ (KBSC)

7. 各種行事への招待

当協会が協賛、後援等をする行事に会員を抽選により招待した。

- ・ビーチバレーJBVツアー川崎市長杯
10月7日～9日 於 川崎マリエン・ビーチコート